



天塩町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化の影響とみられる気候変動により、台風の大型化、集中豪雨などの自然災害が頻発し、全国各地で甚大な被害が生じています。
また、農作物や生態系への影響等が懸念されているところです。

2015年に採択されたパリ協定では、地球温暖化防止のため「産業革命以前の平均気温の上昇を2℃より低く保ち、1.5℃までに抑える努力をする」という世界共通の目標が掲げられ、我が国では、「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指す」ことを表明し、2021年10月に「地球温暖化対策計画」が改訂され、脱炭素社会の実現に向けた取組みを進めていくとともに各自治体においても対応が求められています。

こうした状況を踏まえ、天塩町においても、脱炭素社会の実現に向けて温室効果ガスの排出量削減を推進し、本町の豊かな自然環境を守り、将来に渡り安全で安心な暮らしを続けることができる町として未来へ引き継いでいくため、町民・事業者・行政が一体となり、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言します。

令和 5 年 9 月 1 日

天塩町長 吉田 忠